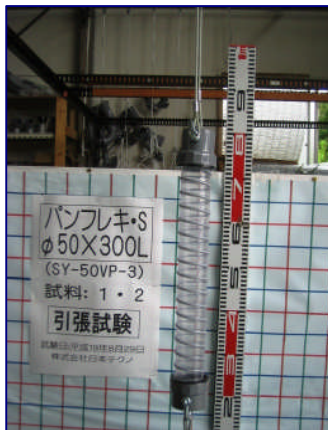


A. 洗濯機パン用排水フレキ引張り試験(於:社内)



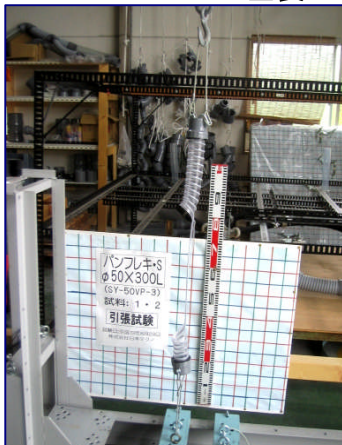
ハカリを“0(ゼロ)”にセット



105kgの荷重でホース部は伸長 ソケット異状なし



全長300mmが530mmに伸長 ソケット部異状なし



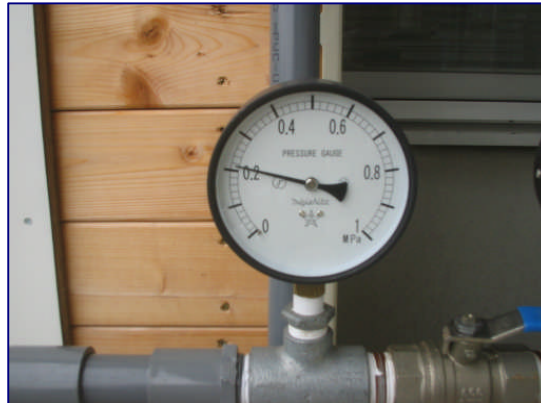
荷重200kgでホースが破断。ソケット部は異状なし

引張り強度については名古屋市工業研究所にて専用機での試験も実施しています。市工研での試験結果データは技術資料に掲載していますので技術資料の5ページをご参照下さい。

B. 洗濯機パン用排水フレキ水圧試験(於:社内)



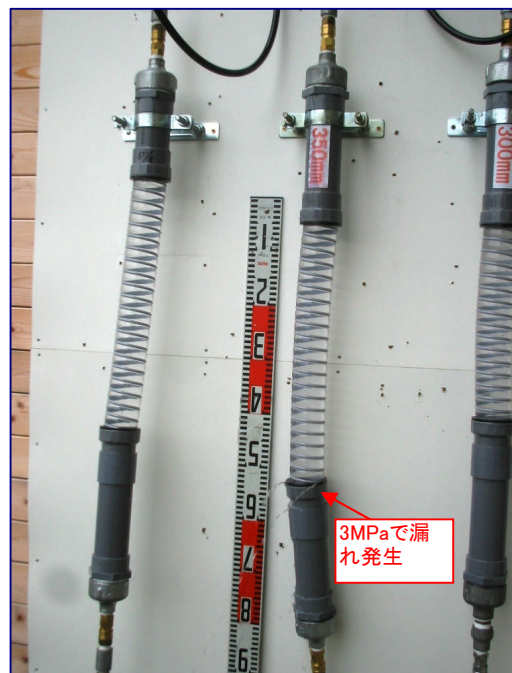
水圧試験 試験体は右から300L、350L、400L



加圧開始 2MPa加圧
350mm製品が加圧により500mmに伸長 漏れ、異状なし



3MPa加圧で中央の350mmが600mmまで伸長し
漏れ発生
2.5MPaまで漏水、異状なし



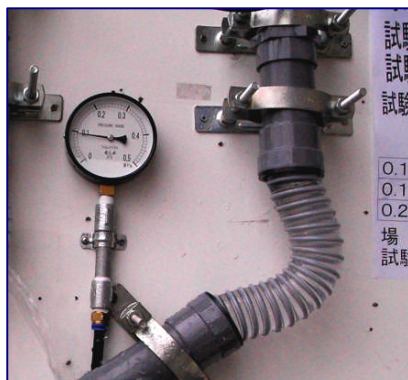
以上AとBの試験はD京様のご希望の下、立会いで実施された試験の記録です。

C. 洗濯機パン用排水フレキ曲げ水圧試験(於:社内)



洗濯機パン用排水フレキはパントラップと塩ビ管との間の芯ズレを容易に解消するものですから、施工時には直管ではなく曲げたり偏位させて使用する場合が多く、フレキ部分には継続的に応力がかかります。曲げの外側になる軟質部は引張られて素材は薄く破断しやすい状態です。そこで、施工状態を模倣した曲げの状態試験体を設置し、水圧をかけることで引張られた軟質部分の強度を確認するための試験を実施しました。

45度曲げの状態の水圧をかけます。



0.2MPaで連続5分間加圧した45度で施工した時の状態です。加圧によりフレキ部が大きく屈曲してフレキの外側はかなり引張られています。画像では判別しづらいですが、芯線コイルの間の軟質部は風船のように膨らんでいます。



減圧後は速やかに元の製品の状態に復元しました。